

九州・沖縄地区の「サービス業」倒産動向調査

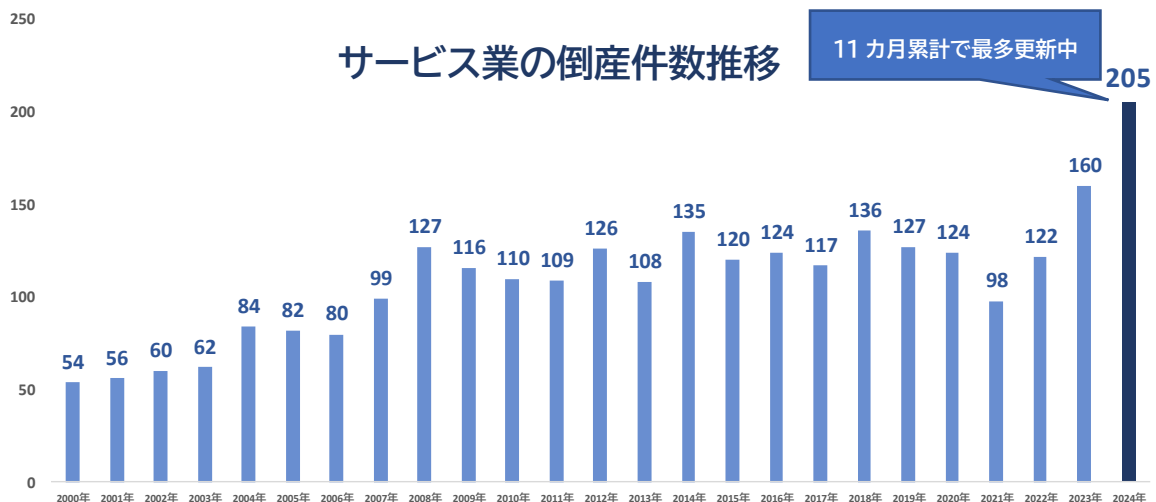
サービス業の倒産が 2000 年以降で過去最多を更新中

『広告代理業』『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』が大幅増

九州・沖縄地区のサービス業の倒産が 2024 年 1 月～11 月までに 205 件発生。2000 年以降で最も多かった 2023 年 (160 件) をすでに上回っており、既に 200 件を超え、過去最多を更新している。

業種別では、『老人福祉業』の 19 件 (前年 14 件、35.7pt 増) が最多、『美容業』15 件 (同 12 件、同 25.0pt 増) 『広告代理業』11 件 (同 2 件、同 450.0pt 増) が 2 桁で続いた。以下、『受託開発ソフトウェア業』9 件 (同 6 件、50.0pt 増) 『経営コンサルタント業』9 件 (同 11 件、同 18.2pt 減) 『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』9 件 (同 3 件、200.0pt 増) となった。なかでも、『広告代理業』『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』の増加が際立っている。

背景にはコロナ禍に減少した売上が戻らないなか、ゼロゼロ融資などの返済負担も加わり、資金繰りが限界に達したことなどが考えられる。また、経営者の高齢化や健康問題を理由に継続を断念し、過剰債務などを理由に法的整理を選択するケースも一定数あり、サービス業の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当: 秋山 進

TEL: 092-738-7779 FAX: 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。